



認定支援機関紹介

北海道第一の都市札幌市にあり、中小企業を中心とした約 19,000 社の会員企業からなる経済団体。会員数は東京・大阪商工会議所について全国 3 位。中小企業に対する各種相談や知識・資質向上のための研修会開催のほか多岐にわたる。

URL <http://www.sapporo-cci.or.jp/>

所在地

〒060-8610
北海道札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

主な支援内容

・「貿易実務講座」、「食品輸出個別商談会」、「海外ビジネスリーダー養成塾」などの支援プログラムを用意

主な支援対象

業種：食品・飲料・酒類などの食品加工業、流通業が中心
取扱商品：農産品・水産品・加工食品・飲料や酒類など
国・地域：中国（香港を含む）、台湾、シンガポール、タイなどのアジアが中心

海外進出支援実績地



※その他、アジア、欧州 (EU)、オセアニア、中東諸国

具体的な支援内容

参加者のスキルアップを図り 海外展開の可能性を広げる施策

(1) 貿易実務講座

平成 17 年から、貿易業務のノウハウを持つ企業人材を養成することを目的に開催。貿易実務初心者を対象とした「入門編」と中上級者向けの「実践編」の 2 種類の講座を開設。

(2) 食品輸出個別商談会

平成 20 年から、海外バイヤーを招聘して、北海道内企業（食品メーカーなど）との個別商談会を開催。

参加者に対しては、開催前から事後までの一貫したサポート体制を確立し、細やかなフォローアップ支援を実現している。

①開催前

貿易の専門家が商談に向けた心構えや具体的な商談方法について説明するセミナーを開催し、参加者（社）の円滑な導入をサポート。

②商談会の開催 3 か月後

参加企業に対してアンケート調査を行い、商談会の開催 3 か月後の成約件数、成約見込件数、商談継続件数など、参加企業の商談進捗度合を担当者が把握し、適宜相談に応じる。

③商談後に適宜

取引成立に向けたフォローアップセミナーを開催し、必要に応じて個

別相談を実施。また、各国別の最新情報を伝えるセミナーや業種別の海外展開のノウハウを紹介する少人数制の勉強会を適宜開催している。

(3) 海外ビジネスリーダー養成塾

平成 24 年から、海外ビジネスに携わる企業の後継者など、幹部人材の育成支援を目的に開催。

今後は、企業の海外展開の機会を逃さぬよう、同じビルに入るジェット口（日本貿易振興機構）北海道貿易情報センターとの迅速な連携を図り、札幌商工会議所ならではのワンストップによる支援体制の構築を目指す。

「海外展開支援研修」受講実績

平成 26 年度

基礎編

実践編

平成 27 年度

基礎編

実践編

「海外展開支援研修」を受講して

認定支援機関として、企業様への対応の仕方、実際の支援方法の流れを掴むことができ、また、海外展開の手順やポイントなど実務面も学べて、とても参考になりました。受講後は、企業様が安易に海外展開を進めることがないよう、しっかりとした準備が必要であることを伝えていきたいと思いました。

※インタビューおよびアンケートより構成、抜粋

■ 担当者インタビュー

“オール北海道”による大規模商談会を開催 成果、成功事例の累積に力を注ぐ

最近、アジアを中心として「北海道産」の商品が欲しいとの引き合いが強い。大規模な商談会を開催するなど、北海道産商品を開発する中小企業に対し、海外展開、進出の好機を逃さない施策を提供している。

Q. 支援プログラムの「貿易実務講座」とは、どのようなものですか

入門編は毎年6月頃、実践編は10月頃に開催しています。入門編では、ジェットロから貿易アドバイザーを講師に招き、貿易の流れや現地業者間のやりとりや流れ、書類の作り方やお金の流れなどを学んでいただけます。また、実践編では、貿易実務の応用、実践を学んでいただくほか、今年度は新千歳空港の貨物ターミナル施設の視察も行いました。

入門編は60名程度、実践編は20名程度の参加があり、来年度も続けていきたいと思っています。

Q. 「個別商談会」の実例について、お聞かせください

昨年は、11月9～10日の2日間、市内のホテルで開催しました。道内の食品関連企業がおよそ130社集まり、海外からもアジア圏を中心に68社のバイヤーを招聘し、総商談数が970件を数えました。札幌商工会議所が中心となり開催しましたが、ジェットロ、札幌市、北海道貿易物産振興会や地元の金融機関と連携をした結果、年々規模が大きくなり、昨年は過去最大規模となりました。過去にも同様の商談会を各機関ごとに実施していましたが、効果が薄い

ことから各機関がパワーを集約して共同開催し、“オール北海道”で取り組んだ結果といえます。

一方で、背景には海外における北海道ブランドに対する認知度や期待度の高まりが大きく反映されていると感じています。せっかく大きくなった商談会ですから、商談会後のフォローアップ支援に力を入れて、今後も成果や実績をあげていきたいです。

北海道の場合、「食」の輸出がメインとなるため、海外商談会、展示会への参加を促す取り組みも行っていきます。かつては欧米の商談会等にも参加していましたが、昨今はアジア圏が多くなりました。商工会議所



主査 稲田健一さん



貿易担当 課長 中森直樹さん

の単独ではなく、ジェットロや札幌市と連携して出向くので、頻度は多くなっています。直近では、4月にシンガポールで開催される「FHA」(フードアンドホテルエイジア)や6月の「FOOD TAIPEI」に参加予定です。

大事なことは、商工会議所だけではなく、札幌市やジェットロ等の支援機関と連携し、力を集約して大きな商談会の開催や海外展示会への参加を継続して行なうことだと思います。

Q. 最後に「ビジネスリーダー養成塾」についてお聞かせください

2代目や3代目など次世代経営者が対象で20～30名程度参加しています。海外進出支援の経験が豊富な在京のコンサルタント等を講師として招いて、年に5～6回開催しています。次世代のリーダー育成も我々の支援活動のひとつだと考えています。

認定支援機関から海外展開をお考えの企業様へのメッセージ

全力でサポート致しますので商工会議所にお越しく下さい！

北海道は、アジア圏でのブランドイメージが高いという追い風があります。各中小企業様が個々の力で海外展開を図るにはハードルもありますが、我々が各支援機関との連携を図りながら、伴走型支援を行ってまいりますので、是非ご活用いただければと思います。

■ 問い合わせ先

札幌商工会議所
国際・観光部
食産業・貿易課

011-231-1332